

第63回日本糖尿病学会年次学術集会 Webinar22

日時

令和2年10月5日(月)～10月16日(金)

オンデマンド配信(期間中配信)



63rdJDS
SHIGA

座長

北村 忠弘 先生

群馬大学 生体調節研究所 代謝シグナル解析分野 教授

演者

高野 幸路 先生

北里大学病院 内分泌代謝内科 診療教授

比較内分泌学的なグルカゴンの考察が ヒトでの作用の理解に役立つか？

グルカゴンはインスリンとともに血糖調節に関わっており、主に空腹時に働いているとこれまで漠然と考えられてきた。しかし、脊椎動物の進化の歴史と食性の変化をかえりみると、グルカゴンには未解明の生理作用があることが分かってきた。また、栄養摂取に対するインスリン分泌についても比較内分泌学的に振り返ることの重要性も示されている。これらについて、ヒトでのグルカゴンの病態と合わせて紹介する。